

第40回 教育研究全国大会(宮崎大会)実施要項

【主催】全日本教職員連盟 【後援】宮崎県教育委員会
【主管】宮崎県教育研究連合会 【後援】宮崎県市町村教育委員会連合会
【共催】日本教育文化研究所 【後援】日本教育公務員弘済会宮崎支部

1 大会理念

美しい日本人の心を育てる

2 大会主題

新しい価値を創造する力を育む教育実践

～ 自らの考えを広げ深める子供の育成を通して ～

3 研究の基調

現在私たちの生活する社会においては、AI やロボティクス等が飛躍的に発展しています。そして、来る Society5.0 社会においては、更に高度化した AI 技術が、これまで人間が担っていた定型的業務等を奪っていくと想定されています。

このような未来を生きる子供たちには、変化に適応するだけに留まらず、自立して主体的に社会に関わり、人間だからこそその感性や創造性を発揮し、新しい価値を創造していく力が必要です。こうした力を育む基盤として、子供たちが、幼少期から身近な人と親しみ関わりを深めたり、継承されてきた我が国や地域の伝統・文化を体験したりする中で自己肯定感を高め、これからの未来社会における我が国の在り方や自分自身の役割について、高い志をもたなければなりません。そして、思考力・判断力・表現力等を駆使して社会と関わることでこれまで培ってきた知識や技能を更に確かなものにするとともに、多様な人々と協働しながら様々な課題にチャレンジし、可能性を最大化していくことが必要です。これらの取組は、自己・人・自然・社会・国を愛する心を育てること、即ち本大会の理念である「美しい日本人の心を育てる」ことにつながると考えます。

そこで、初等中等教育段階では、子供たちに日本人としてのアイデンティティを育むと同時に、自身のアイデンティティに目を向けることができるようにすることが大切です。そのためには、我が国や郷土の伝統・文化を理解し、自己形成に関わった地域社会に誇りをもって、それらを発信、継承する能力が必要です。併せて、子供たちが課題に積極的に向き合い、様々な情報を取捨選択し、それらを再構成して新たな価値につなげていくためには、これまでの教育実践の蓄積に基づいた上で、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善が必要です。また、人々との対話、協働のためには、「特別の教科 道徳」を要としながら、多様な価値観の存在に気づき、内省しながら物事の本質を考える力や何事にも誠実に向き合う意志、豊かな情操等を養うことが重要です。一方、子供たちを取り巻く環境が複雑化・困難化する中で、子供たちに食・健康等に関する学習を通して、積極的に健康な生活を実践することのできる資質・能力を養うことが重要です。また、誰もがその個性や能力を生かして社会参画できる共生社会を実現するために、全ての子供たちの力を引き出すとともに、一人も置き去りにしない教育の推進と特別支援教育の充実が不可欠です。これらの教育実践を持続可能なものとしていくためには、学校指導・運営体制の更なる充実を図ることが必要です。学校マネジメントには、学校における働き方改革を達成するとともに、学校教育を通じて社会を創るという目標を学校と社会が共有することや、チーム学校が有効に機能するために校内体制を整備すること等、学校と社会とが連携・協働する体制を更に充実させることが求められています。これまで述べた教育に直接携わる私たち教職員は、教育専門職としての使命と誇り、子供たちへの限りない愛情を胸に、自らの職責を深く認識し、専門性を高めるとともに人間性を磨くために、常に研鑽に励む姿勢を示さなければなりません。

本研究大会では、「美しい日本人の心を育てる」という全日本教職員連盟の基本理念の下に、大会主題を「新しい価値を創造する力を育む教育実践」とし、本主題に迫るための手立てとして、「自らの考えを広げ深める子供の育成を通して」という副主題を設定しました。各分科会での実践発表と研究協議、助言者による指導等を通して、参加者一人一人がそれぞれの立場で研究を深め、学校現場で生かすようにするとともに、複数年度にわたって研究を積み上げていきます。

4 大会の基本的構想

- 教職員団体としての特色を生かす教研大会とする。
- 教育専門職としての研修を深める教研大会とする。
- 教育実践に役立つ教研大会とする。
- 提言のための課題集約の場となる教研大会とする。
- 組織への所属感や会員相互の連帯感を高める教研大会とする。
- 組織の強化や拡大の手立てとなる教研大会とする。

5 分科会設置の方針

- 時宜を得た話題と社会の要請を踏まえた分科会とする。
- 組織構成・校種・職種等、会員の立場の違いと共通性を生かす分科会とする。
- 正しい教育に取り組む仲間としての意識の高揚を図る分科会とする。
- 研究発表やフォーラム的要素を加味した分科会とする。
- 異なる3つの分科会に参加できることとし、一人一人が幅広い視点で研究を深められるようにする。

6 大会期日・参加者数

令和5年8月5日(土)～8月6日(日) 1,000名(うち県外参加者数 約500名)

7 大会会場

【分科会・助言者ゼミナール・全体会・記念講演】

シーガイア コンベンションセンター

〒880-8545 宮崎県宮崎市山崎町浜山 TEL：0985-21-1062

【宿泊】

シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート 宮崎市山崎町浜山 **ホテルマリックス** 宮崎市千草町15-8

ホテルメリージュ 宮崎市橘通東3-1-11 **エアラインホテル** 宮崎市橘通西3-10-19

8 設置分科会

分科会名及びテーマ		提案テーマ及び提案者	助言者
第1分科会	学習指導A 我が国と郷土の歴史や伝統・文化への理解を深める学習指導	A 山口県教連 地域の特色をいかした教育活動の展開 ～古式捕鯨の町『通』に残る通鯨唄を中心として～ 長門市立通小学校教諭 増山 孝史	麗澤大学特別教授 モラロジー道德教育財団道德科学研究所教授 高橋 史朗
		B 徳教団 グローバルな視点とローカルの視点を兼ね備えたグローバルな児童の育成 ～人権学習を中心とした見方・考えを広げる教育実践～ 吉野川市立学島小学校教諭 上岡 真依	
		C 福岡教育連盟 西郷遺訓を朗誦する朝のホームルーム 福津市立津屋崎小学校教諭 副島 海斗	
第2分科会	学習指導B 学びの連続の中で確かな資質・能力を育む学習指導	A 千教連 体育科における確かな資質・能力を育む学習指導 八千代市立八千代台東小学校教諭 本田 将貴	千葉大学 名誉教授 明石 要一
		B 島教協 自分の思いを豊かに表現できる子どもの育成 ～見方・考え方を働かせた授業を通して～ 奥出雲町立三成小学校教諭 石飛 杏	
		C 宮教研連 思考力・判断力・表現力を育む算数科学習指導の在り方 ～対話的な学びの充実を意識した授業改善を通して～ 延岡市立一ヶ岡小学校教諭 鷹巣 真宏	

第3分科会	道徳教育 「特別の教科道徳」を要とする豊かな道徳性を育む心の教育	A	青森教協 問題解決的な授業を目指して ～多面的・多角的に思考させるための仕掛けづくり～ 平川市立竹館小学校教諭 千葉 光帆	武庫川女子大学大学 教授 押谷 由夫
		B	栃教協 道徳科における指導と評価の一体化 ～タブレットの活用をとおして～ 宇都宮市立横川東小学校教諭 河原 大輝 茂木町立茂木小学校教諭 若林 真帆	
		C	徳教団 自分ごととして、集団の一員として考えられる道徳心の育成 ～日常から多面的・多角的な見方を養う授業の工夫～ 徳島市川内北小学校教諭 川邊 晃	
第4分科会	健康教育 「食育」「学校保健」「体育(保健領域)」を通じた生活習慣の改善を図る教育	A	栃教協 社会性を育むための食に関する指導 ～新しい生活様式に沿った食事マナーの実践～ 宇都宮市立陽北中学校栄養教諭 秋場有美子 下野市立南河内小中学校栄養教諭 柴 瑞穂	東京栄養食糧専門 学校 校長 渡邊 智子
		B	香教連 生涯にわたって生きて働く、望ましい食習慣を形成するための食育 善通寺市立善通寺中央小学校栄養教諭 西原 未来	
		C	愛教研 かかわる つながる つくりだす 児童の育成 ～健やかな心と体を育む食育への取組を通して～ 松山市立潮見小学校栄養教諭 都築 弥生	
第5分科会	学校マネジメント 学校における働き方改革の達成と「社会に開かれた教育課程」の実現	A	栃管協 「社会に開かれた教育課程」を実現する学校づくり 那珂川町立馬頭東小学校校長 田邊美代子	千葉大学 名誉教授 天笠 茂
		B	宮教研連 コロナ禍においてもできる、地域を巻き込んでできる「キャリア教育」の展開 えびの市立飯野中学校校長 黒葛原 武	
		C	愛教研 学校における働き方改革の達成と「社会に開かれた教育課程」の実現 松山市立道後小学校校長 佐藤 郁子	
第6分科会	特別支援教育 個に応じ、能力を伸ばす特別支援教育	A	都教連 ビジョントレーニングの実践 青梅市立第二小学校教諭 宮島 大輔	桃山学院大学 大阪成蹊大学 講師 石塚 謙二
		B	岐学組 豊かな心を育てる自立活動 関市立瀬尻小学校教諭 山口 清久	
		C	山口県教連 医療・福祉・教育の連携 ～県内視覚障害者の学びの保障のために～ 山口県立山口南総合支援学校教諭 梶原 誠	

9 大会日程概要

第1日 8月5日(土)	12:40～13:00	受付
	13:00～13:25	開会行事
	13:25～14:15	分科会A
	14:15～14:25	休息・移動
	14:25～15:15	分科会B
	15:15～15:25	休息・移動
	15:25～16:15	分科会C
	16:20～16:30	休息・移動

第2日 8月6日(日)

16:30~17:25

助言者ゼミナール

8:30~9:00

受付

9:00~10:00

全体会・開会行事

10:15~11:35

記念講演

演題 「AIと脳の未来」

講師 池谷 裕二 氏

(東京大学薬学部教授)

11:50~12:10

閉会行事